



11月 乳児部だより

令和4年11月25日発行 洗足池保育園

ますます深まる秋を感じながら、自然と触れ合う事を楽しんでいる子ども達。昼夜の寒暖差も大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりましたが、寒さにも負けず、元気いっぱい子ども達と過ごしていきたいと思います。



今月の1コマ

お医者さんごっこをしているよ！聴診器でお腹をポンポン！



みんなでおおかみごっこ☆
おおかみだぞ！がおー——！



ふたば組

自然物を拾い集める事が大好きな子ども達。そこで先日、散歩バックを作りました。ジップロックに様々な色や大きさのタックシールを貼りました。「ペタッ」と言いながら貼ったり、指先を使って丁寧に貼ったりする姿が見られました。

そして、完成した散歩バックを持ち、洗足池周辺へ散歩に行きました。「ドングリあるかな？」「落ち葉は落ちているかな？」と話しながら歩いていくと、「あ！あった！」と言い見つける子ども達。目線の先には、沢山のドングリや落ち葉が落ちていました。ドングリを見て、「小っちゃいね〜」「丸いねー」等、大きさや形の話をしたり、自分で作った散歩バックの中に、黙々とドングリや落ち葉を拾い集めたりする姿が見られました。また、ドングリが転がっていくと、「コロコロ〜」と言っている子もいましたよ。散歩バックの中に自然物を沢山拾い集めると、「ジャーン！」といい、見せてくれました。



これからも、様々な自然物に興味を持ち、見たり、触れたり出来るような環境を作っていきたいです。



みつば組

夏に植えたひまわりが、猛暑により花が咲く前に枯れてしまいました。子ども達と相談し、もう一度、秋に咲くひまわりを植えて育てる事にしました。

種を植える際には、「今度は咲くかな？」と言って、花が咲く事を期待していましたよ。また、水やりでは、保育者が誘うとすぐに「やりたい！」と言って、意欲的に行う姿が見られました。回数を重ねる度に上手になり、しっかりとジョーロを両手で持ち、こぼさないように水をあげたり、「こっちにもあげる？」と言ってひまわりの芽に満遍なく水をあげたりしていました。土が濡れていて、水やりをしなくても良い日は、大きくなっているか様子を見たり、手で触れて「大きくなってね」と声を掛けたりして生長を見守っていましたよ。

そして、先日、ようやく大切に育てていたひまわりの花が咲きました。登園するとすぐに気が付き「咲いたよ！」と言って喜ぶ姿が見られました。咲いたひまわりの匂いを嗅いだり、手で触れたりして興味津々の子ども達でした。今後もこのような体験が出来るよう、子ども達と相談しながら、植物を育てていきたいと思っています。

